



豊玉二中だより

平成27年度 第4号
発行日 7月17日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 中山 徹

新しい発見と喜び

副校長 門脇 伸也

「色は匂えど散りぬるを、我が此誰ぞ常ならむ、有為の奥山今日超えて、浅き夢見じ酔いもせず」。
いきなり古文ですが、だれもが耳にした音調ではないかと思えます。例の「いろはにほへと…」
です。実は、あの「いろは」はこのような歌になっていたことを、私はこの歳まで知りませんでした。
久しぶりにお会いした恩師から「最近、ある本で知ったのですが」と伝えられ、軽いショック
を受けました。

「いろはにほへとちりぬるを わかよたれそつねならむ うゐのおくやまけふこえて あさきゆ
めみしゑひもせす」。それは、この47のかな文字に意味があったことのショックというより、私
にとって新しい発見であったことの喜びあり、恩師と慕う先生が、常に学ぶことの喜びをもちつづ
けていることへの羨望でした。

恩師とは、私がまだ若かりし頃、お世話になったH市の教頭先生です。今は、ご退職をされてし
まいました。今は年に一回ほどとなってしまいましたが、恩師とお会いして話しを聞く機会をとて
も楽しみにしています。

人は誰でも、知識欲というものがあります。それが、小中学生という知的好奇心旺盛な時期の子
どもたちにとってなおさらでしょう。私たち大人は、この子どもたちの欲求に応えていかなければ
なりません。ましてや教員は、子どもたちの知識欲をうまく引き出し、知的好奇心をくすぐるよう
な授業の工夫が必要となります。

「いろは歌」から、自戒を込めた雑感でした。

(ちなみに、この歌の意味ですが、「華やかな世もいずれは終わる。これは世の常である。今、死
の瞬間を迎え、これからは浅い夢も見ず酔いもせず、まっすぐに光を見つめて進もう」というも
ので、もとは仏教の経典からきているものようです。)

暑中お見舞い申し上げます。



子どもたちは、45日間の夏休みにはいります。9月1日に全員が元気な姿で登校してくるこ
とを楽しみにしております。